

琉球新報

2007年(平成19年)

2月17日(土)

発行所 琉球新報社

郵便番号 〒900 8525

那覇市天久905番地

私書箱 〒900 8656

那覇中央郵便局私書箱15号

©琉球新報社2007年

THE RYUKYU SHIMPO

電子号外

F22嘉手納飛来

米国外で初配備



一時配備で嘉手納基地に飛来した米空軍の最新鋭F22Aラプター戦闘機。17日午後零時7分ごろ、嘉手納基地

米軍嘉手納基地への飛来が二度にわたって延期されていた米空軍の最新鋭戦闘機「F22Aラプター」二機が十七日午後零時七分ごろ、嘉手納基地に相次いで飛来、配備された。米本国以外では初の配備となる。米空軍は、暫定配備で期間は九十、百二十日間の予定と説明している。

F22は、現在嘉手納基地に配備されているF15戦闘機の後継機として開発され、レーダーに探知されにくいステルス性と超音速巡航能力を兼ね備える。

当初、十日に中継地のハワイ州ヒツカム空軍基地から飛来する予定だったが、天候不良で飛来を延期。十一日にいったんハワイを離陸したものの「ソフトウェアに不具合が見つかった」との理由で引き返していた。

新たに配置される要員はパイロット約二十人を含む二百五十人以上。三沢基地(青森県)の在日米空軍部隊や在韓米空軍部隊との訓練を計画しているほか、米軍側には日本の航空自衛隊との共同訓練の意向もある。

嘉手納基地では所属機のF15戦闘機訓練の本土移転が計画されているが、具体的な負担軽減が見えない中で最新鋭機の配備に地元の反発は強い。(詳細は17日夕刊2版―一部地域、18日付朝刊をご覧ください)